



令和8年度 浜松市立北浜北小学校 学校だより

北心だより

令和8年9月1日 NO.7



学校教育目標

夢に向かって 輝き合う子

学校中間評価アンケートへの御協力ありがとうございました。

6月末に行った1学期末学校評価アンケートでは、日頃の学校教育活動についての評価や御意見をいただき、ありがとうございました。今回の結果をお伝えするとともに、いただいた御意見について回答いたします。

☆児童の評価が高い項目ベスト5☆ (評価が高い順)

- ①相手のことを考えて話したり、遊んだりしている。
- ②健康と安全に気を付けて過ごしている。
- ③学校は楽しい。
- ④夢や目標をもち、その達成に向けて、挑戦したり努力したりしている。
- ⑤授業の内容が分かる。
めあてが分かり、自分なりに解決しようと取り組んでいる。

☆保護者の評価が高い項目ベスト5☆ (評価が高い順)

- ①学校は、保護者からの相談等に丁寧に対応している。
- ②学校は、お子さんにとって、安心して安全に過ごせる場所になっている。
- ③教職員は、お子さんを大切にした指導を行っている。
- ④学校の行事や参観会、便りやブログなどは学校の様子を知るのに役立っている。
- ⑤子供たちは、周りの人に、思いやりの心をもって、接している。

以上の項目において、9割前後の児童・保護者が「そう思う、どちらかといえばそう思う」と回答していました。児童の評価からは、学校で前向きに学習したり、楽しく遊んだりしている子が多いことが分かりました。児童の評価が最も高かった「相手のことを考えて話したり、遊んだりしている。」については、本年度本校の合言葉である「かかわり」への意識の高まりを感じます。今後も相手を大切に、よりよくかかわりながら学校生活を送ることができるよう支援していきたいと思えます。

保護者の皆様の評価からは、本年度も日頃の学校教育活動に対して肯定的に捉えていただいていることが分かり、私たち教職員の励みになりました。今後も、教職員と子供、教職員と保護者の皆様とのかかわりを大切に考えて丁寧に対応し、一人一人のお子さんの成長を家庭と共に支えていきたいと思えます。

☆児童の評価が低い項目ベスト5☆
(評価が低い順)

- ①自分のよいところを見つけ、自分に自信をもって生活する。
- ②気持ちの良い挨拶をする。
- ③友達と進んで運動する。
- ④目標をもって運動に取り組む。
- ⑤自分の学びを振り返り、次の学びに生かそうとする。
自分で考え判断し、行動している。

☆保護者の評価が低い項目ベスト5☆
(評価が低い順)

- ①子供たちは自分の学びを振り返り、次の学びに生かそうとしている。
- ②子供たちは課題をもち、自分なりに解決しようと取り組んでいる。
- ③子供たちは、目標をもって運動に取り組んでいる。
- ④子供たちは友達と進んで運動している。
- ⑤子供たちは、気持ちの良い挨拶をしている。

児童の評価が最も低かった項目は、「自分のよいところを見つけ、自分に自信をもって生活する。」でした。児童・保護者ともに振り返りへの評価が低いこともあり、発達の段階に応じて学習の振り返りを行ってはいるものの、自分の学びを振り返る中で、頑張りやよさ、成長に気が付きにくいという傾向があると考えられます。自分の頑張りやよさ、振り返りの視点を具体的に提示することにより、自信をつけていけるよう授業改善に努めてまいります。

また、今回のアンケートでは「コミュニティ・スクールの活動を知っている。」の肯定的回答が大きく伸びました(R7 49.0% → R8 75.9%)。活動内容を具体的に記述したことにより、コミュニティ・スクールという名前にはなじみがなくとも、活動については知っているという方の回答が増えたと考えられます。1学期には、書写、裁縫、のこぎり、プール見守り等の学習ボランティアや、読み聞かせ、クリーンアップ作戦等に多くの方が御参加くださいました。子供たちが安心して活動することができました。本当にありがとうございました。

今回の結果を真摯に受け止めつつ、数値だけにとらわれることなく、目の前の子供たちを大切に考え、保護者の皆様と連携しながら進めていきたいと考えております。御協力お願いいたします。

アンケートの結果はホームページにアップしてありますので、御確認ください。

皆様からの御質問・御意見にお答えします。

※個人に関する御質問・御意見につきましては、個別に回答させていただいております。

※保護者の皆様からの回答で、職員や学校に対する温かい言葉を多数いただき、私たち教職員の励みになっております。多岐にわたる改善の御意見、御指摘等を真摯に受け止め、今後も家庭と協力し、子供たちの成長を支えていきたいと思ひます。いろいろな御意見、本当にありがとうございました。

御質問・御意見	回答
高学年が登下校中に「グリコ遊び」をやっているときがある。歩道がないところで下校中にやっているのを運転中に見て普通に危ないし、歩道があっても他の歩行者を邪魔するくらい歩道いっぱい広がってやっける時もある。迷惑です。	学校でも、下校時の道路での過ごし方について指導をしていきます。 もし危険を感じる行為を見掛けましたら、その場での注意が最も効果的です。一声掛けていただけると有難いです。困ったことがありましたら、学校にも御一報ください。
都道府県や特産品についてゲーム感覚で学ぶことができる教育ソフトがあるようで、評判も良いそうです。楽しく日本全国のことを学べるのは素敵です！もう取り入れていたらごめんなさい。	活用について、今後近隣の学校と相談して考えていきたいと思ひます。
子供達が様々な経験ができるような設備、環境があると学校がよりよくなるのではないかと思ひました。 例えば、老朽化した遊具の撤去がありましたが、それにかわる別の遊具の設置や、運動会も団体競技が 2 年間同じかと思うので、学年毎に内容を変えてあげるなどでも子供達にとって経験が増える事になるかと思ひます。	設備、環境については、今後浜松市と相談していきます。 運動会の団体競技については、本校で協議をした結果、来年度も本年度と同様に団体競技を 2 学年ずつ行うこととなりました。本年度の様子を振り返ると、2 学年同じ競技を行うことにより、下の学年は上の学年を目標に取り組んでいました。上の学年は昨年度の成果と反省を基に、よりよくつくり上げる機会を得ていました。いろいろな種類を経験することも大切ですが、運動会においては過去の経験から学び、ステップアップする経験を大切にしていきたいと思ひます。

日頃より学習や生活そのもののご指導いただきありがとうございます。学校保管のものも多く、何を持っていて、何をどんな時に使うのかなど物の管理が難しいと感じています。	学校保管のものや自宅保管のものについて、学年だよりにてお知らせしていきます。その他に、分からないことがありましたら、気軽に担任までお問い合わせください。
長期連休明け初日に、お道具箱を持ちものに入れなくてほしいです。学童がありお弁当持ちなので、荷物が多過ぎます。数日猶予があると助かります。	お道具箱を学校に持ってくる期間を設けました。詳細は学年だよりを御確認ください。
参観会の後の保護者の出席率がとても低く感じます。できる限り出席するようにしていますが、子供と一緒に下校する時間に関催されると、家に他に親がいなかったりなかなか出席しにくいと思います。例えば、子供を他の場所でみて待機させておくなどして、なるべく多くの保護者が参加できる方が開催する意義があるように感じます。 教育活動とは関係ありませんが、水筒の斜めがけは転倒時に腹部の内臓損傷した例があり、危険だと聞いたことがあります。遠方から通う子はすぐ飲めるようにとのことかもしれませんし、各家庭の判断に任せているかと思いますが、知らない家庭もあるかもしれません。学校から指導等があるのか気になったので記入させていただきました。	懇談会について4月の教育活動説明会の折に御説明しましたが、本年度は参観会後の時間に、「ちょこっとタイム」として気軽に担任と話す場を設けています。その間、お子さんは一緒に教室にすることが可能です。ぜひ御活用ください。 水筒については、「北浜北小学校の約束」に「水筒は、バッグに入れるか、肩にかけて登下校する。」と書かれています。しかし、水筒による事故事例によると、登校中に走っていたり、足を滑らせたりした際に起こった事案として注意喚起がなされています。どこの場所でも起こりうることであるので、以下の3点を指導しました。 ① 水筒はなるべくランドセル等に入れ、腹部に抱えないようにしましょう。 ② 水筒を首や肩に掛けているときに走らないようにしましょう。 ③ 遊具等で遊ぶ時には、水筒を置いて遊ぶようにしましょう。 ランドセルや横断バッグに入れて持ち運ぶことが最も安全ですが、学校から距離がある家庭は、登下校中に水分補給が必要となります。また、横断バッグに水筒を入れると、遠い距離を重い荷物を持って歩くこととなります。各家庭でお子さんと相談して判断いただければと思います。

学校の体制的に、できる子がどんどん進みたいのを止めているように思います。それは大人が子どもの主体性を奪っていないでしょうか。例えばタブレット学習等であれば自由進度学習も可能なのではないのでしょうか。	授業改善のために、定期的に教員研修を行っています。主体的・対話的で深い学びの充実に向けて継続して研修を行っていきます。 タブレット学習については、メリットとデメリットを考え、効果的な場面で活用していきます。
運動会についてですが、リレーはあった方が良いのではないかと思います 各学年で成長を最も感じられると思ったからです。	本校の教育目標は、「夢に向かって輝き合う子」です。一部の子だけ活躍する場（リレー）ではなく、どの子も輝き合う場を大切にしています。本校では、種目数をどの子も均等にすること、子供たちの待ち時間の削減、子供の負担軽減（特に１年生）のため、現在の種目数で実施しています。
毎年意見を伝えていますが、運動会のリレーを入れて欲しいです。今年はソーラン節と共にリレーの練習もしたらしく、子供、クラスの皆がやる気に満ち溢れていたと子供から聞いています。実際にプログラムが配布されてリレーが無いと知って、子供達がショックを受けていたと聞きました。練習する時間があつたなら、そのまま組み込んで欲しかったです。時間的にもいけるのでは無いでしょうか？指導する人が居ないのなら、ボランティアを募ってみるのはいかがでしょうか？	また、年間指導計画上、４・５月に「かけっこ・リレー」の学習が位置付けられているため、運動会練習と並行してリレーの学習を実施しました。 また、持久走は今年度も時間走を行います。速さを競うのではなく、本人の走力に応じて目標を決め、記録に挑戦するためです。昨年度の実践では、走ることが苦手な子も得意な子も、どの子にとってもやる気を失うことなく自分に合った目標（級）を設定することができていました。メリット、デメリットどちらもあるとは思いますが、自分に合った目標を設定して毎日取り組む中で「自分を見つめる力」「自分をふかめる力」を付けています。事後の振り返りカードでは、記録会当日の結果だけでなく、それまでの過程や努力に気づくことができています。
運動会のリレーをやってほしい。持久走大会も前のように戻してほしい。夏のプール活動期間が短いので、どうにかならないのか。	夏のプールについては、年間指導計画の中で、水泳授業に必要な時数を決めて実施しています。

いつもお世話になっております。 運動会の際、自分の子供の出番ではない時も前に居続ける保護者の方が多いと感じます。「自分の子供の出番が終わったら下がる、他の方に譲る」ようにルールを作って徹底した方が、みなさん気持ち良く我が子の思い出を残せるのではないかと思います。	来年度の運動会では、運動会の御案内をする際、保護者の観覧ルールを徹底していただくようお願いをしていく予定です。 お子さんの様子を間近で見たい気持ちはどの保護者の方も同じだと思います。お互いに気持ちよく過ごせるよう譲り合いの心をもって見ていただけると助かります。
運動会の保護者観覧席ですが、種目学年以外の保護者が知り合いの子を見たいと場所を譲らない、最前列の保護者の日傘で2列目だと全く見えないなどあり、もう少しアナウンスして欲しいと思いました。	年度当初の休み時間、他の学級の友達に会いに行った児童が教室の出入り口付近で遊び、けがが続いていました。また、他の児童の妨げにもなっていました。安全を考え、学年集会でしばらくの間他のクラスに行かないという話をしました。現在は状況が落ち着いているため、2学期の学年全体でそのルールをなくすことを伝えるとともに、安全な過ごし方について説明や指導をし、様子を見ていきます。 外での活動については、浜松市から出ている「学校における『暑さ指数（WBGT）』に応じた対処」を基に判断しているため、残念ながら児童の活動が制限される場合があります。 学習の質を上げ、目標をもって活動するために、体育科の授業では振り返りカードを活用していきます。単元ごとに目標を設定し、目標に対する振り返りを行うことにより、自分の成長や課題を自覚するとともに、目標に近づくための調整を行っています。低学年では、目標や頑張ることを分かりやすく伝えるように心掛けていきます。運動会では、キャリアパスポートを活用して目標の設定と振り返りをしています。
今年になり、他のクラスの子と話してはいけないというルールができたようで、お友達と話すことができない、遊ぶ約束もできないと家で話しています。なぜそのようなことになっているのか、詳しく聞きたいです。純粋な子供は、言いつけを守っていると思いますが、学校側の都合だけで全く子供のことを考えていないのではないかと不信感が募るばかりです。また仕方がないことですが、熱中症対策で休み時間も外で遊ぶ機会も減り、目標を持って運動に取り組んでいるかということについても、結局は家庭で任せているように思います。学校側が子供達に目標を持たせるためにどのような取り組みをしているのかが、もっと詳しく知りたいです。	

使っていい言葉と悪い言葉を子どもたちにしっかり伝えるべきだと思う。 もっとダメなことはダメときちんと叱ってほしい。傷ついて我慢する子が増えていくと思う。親が叱るのと先生方が叱るのは全く効果が違うので。いけないことをしたと反省できるまでしっかり伝えてほしいです。令和の教育は分かりませんが、傷つく子が我慢をする学校を変えてほしいです。された子に気にするなと伝え、強い心を育てるのは大事ですし有難いですが、言葉が酷すぎたりするのでそういう子にきちんと叱ってほしいです。	本校では、各担任が指導するだけではなく毎週水曜日に行われる「ふわふわタイム」において、言葉遣いについて指導しています。どんな言葉を使ってはいけないのか、どんな言葉を言われるとうれしいのか実際にペアで実践することを通して学んでいます。 そのうえで、相手が傷つく言葉を使う児童に対して指導していきます。困ったことがありましたら、学校に御連絡ください。
給食をもっと美味しくしてもらえたら午後からも頑張れると思います。 減らして完食するよりもたくさん食べて大きく育ててほしいと思います。	本校の給食は、自校式ではなく浜北学校給食センターが作っています。浜北エリアの学校全ての給食を担っており、栄養士が栄養バランスを考えて作っています。要望については給食センターに意見を伝えていきたいと思っています。
給食をもっと美味しくしてください。保育園の時のような給食であればもっとたくさん食べ、ご飯を残すこともしないと思います。まずはアンケートや調査、美味しく食べるための工夫をしてみたいかがででしょうか？せっかくのご飯がもったいないです。	
タブレット学習についてですが、タブレットの誤動作が多い。（押したのに反応しない、押してないのに勝手に反応する、途中でエラーになる） そのためなかなか勉強に集中できていない気がします。	6月に児童用タブレットの更新がありました。新しい機種になったため、誤作動は減ると思われます。タブレットは回収・修理が可能です。気になることがありましたら担任にお問い合わせください。
学校をよりよくするための意見としていくつかあげさせていただきます。 ①コロナ禍が終わっているので給食の時間には友達やグループで顔を合わせて給食を食べてほしいと思います。もし、できない理由があるとすれば教えていただきたいです。	①「より良い学校生活とは」について、保護者の目線から真剣に考えていただきありがとうございます。楽しく給食を食べてほしいという気持ちは教職員も同じです。しかし、グループで食べていると、おしゃべりに夢中になり、時間内に食べることができない児童が多くおり、それに伴い残食が増えてしまう場合があります。子供たち

②地域のつながりの希薄化、習い事や電子機器の普及などにより、子どもたちの発達にも様々な影響が出ているように感じます。学校だからこそ学べることは勉強だけではない部分もとても大きいと考えており、とくに子どもたちの『遊び』の時間は昔に比べてかなり減っているのではないかと感じます。親世代の小学校生活と比べると、休み時間が短いように思います。例えば、制服を廃止し着替えに使う時間を休み時間に回したり、月に1回でも長い昼休みがあり子どもたちが思いきり遊び切ることができる日を設けたりするなど、なにか工夫していただけることがあるといいなと思います。国から定められた授業時間数などは変えられないことや、何かを変えるということはただでさえ多忙な先生方の負担になることも重々承知しています。ただ、何事も効率化を求めた教育の先に、子どもたちの中に何が育っているのか、より良い学校生活とは、ということを大人が考え続けることはしていきたいと思い、一意見として書かせていただきました。

③昔はあったクラス名簿がないために、子ども同士のトラブルや連絡したいことなどがあったときに連絡できず困る時があります。少し保護者同士が話し合っ解決できることもできずに相談が担任へいくことは学校へも負担がかかってしまうと思います。このご時世で難しい問題だと思いますが、クラスの保護者間のつながりが無いのは、トラブルの元になると感じています。

が午後の活動に必要な栄養をしっかり取れることを大切に考え、前を向いて食べています。児童の実態に応じて指導していきます。

② 子供たちにとっての遊びが人間関係の構築や豊かな心を育むために重要であることは、私たち教職員も深く認識しています。一方で、学校は定められた教育課程を修了するための学びの場であり、授業時間の確保が最優先となります。日課の中で遊びの時間を増やすことは難しい状況にありますが、委員会活動や学年でのイベントを行い、いろいろな人とかわる機会を設けるよう工夫をしていきたいと考えています。

③ クラス名簿については、近年の個人情報保護並びに子供の安全確保の観点から、学校として一律に公開をしていません。御不便をおかけすることもあると思いますが、子供たちの安心・安全を守るための措置として御理解と御協力をお願いいたします。なお、保護者同士のコミュニケーションにおきましては、今のところ参観会、ちょこっとタイム(参観会后)、ボランティア活動などの機会を御活用いただければと思います。教員の負担について御配慮いただき大変恐縮ですが、必要な連絡の調整には引き続き誠意をもって対応してまいります。

忙しい中で子どもたちに向き合っているだけで感謝しています。 教員の余裕がないと子どもに適切に接するのは難しいと思います。先生方が余裕をもって働ける環境をつくってほしいです。	余裕をもって働ける環境を切に願う今日この頃です。現在、浜松市で教員の働き方改革を進めています。教員にゆとりが生まれれば、子供とのかかわりや授業の質の向上につながると考えます。
もし学校だけで解決・改善に困るようなことがあった場合、子どもたちがより安全に安心して過ごせて先生方のご負担が少しでも軽くなるようであれば、保護者が校内を見回ったりして大人の目を増やすというのはどうなんだろうか...?と浮かびました。(色々考えるととても難しいかもしれませんが...) たくさんの温かい眼差しで、北北小の子どもたちが皆健やかに成長することを切に願っております。家庭と学校がかかわりながら子供たちを見守るきっかけになります。ありがとうございます。	教員不足や子供の安全性確保がニュースでも取り上げられることが多くなっている近年、保護者の方の協力は大変有難いものです。本校は、CS ボランティアに多くの保護者の皆様に協力いただいています。 今後、さらに子供たちが安全・安心に過ごせる北浜北小学校になるよう、学校と家庭とのかかわりについて検討していきます。